

かわさきの新たなランドマーク

川崎市内を一望できる展望ロビー・スカイデッキを公開



新庁舎は、震災対応にも優れ、大規模災害時にも市民への情報発信、生活再建・復興の中枢拠点として役割を担います。



北東方面には、六郷河川敷や新宿に東京都庁、羽田空港の航空機離発着、東京タワーやスカイツリーなどが一望できます。



南東方向には、横浜ランドマークタワーやベイブリッジ、つばさ橋、また天気の良い日には富士山を一望することができます。

1938年に竣工した川崎市庁舎は、75年の歴史に幕を閉じ、新たに地上25階、地下2階、高さ約117mの新庁舎が誕生。

新庁舎25階には、地上110mの高さから市内を一望できる『展望ロビー・スカイデッキ』が設置され、市内は勿論、東京都内、羽田空港やスカイツリー、横浜ベイブリッジから富士山に至るまで眺望が楽しめます。どなたでも利用でき、入場無料。

【展望ロビー公開時間】

午前9時～午後9時まで

(土日祝日含む)

※設備点検や悪天候時には展望フロアを閉鎖することがあります。

市民代表の議員が熱い議論を展開する議場



議員席後方の傍聴席は、100名が議会の進行を見ることができます。また、親子席が設けられ、小さいお子さんと一緒に安心して議会をご覧いただけます。



議場内「演壇」からの風景。代表質問や討論などおこなう時に使用されます。議場や委員会室では、市民生活に直結する様々な課題を活発に議論されています。

新庁舎23階・24階部分にある市議会議場は、各区選出の議員60人が市民の代表として、活発に論戦が繰り広げられています。

新議場では、新たに採決における押しボタン方式を採用し、大型スクリーンに各議員の賛否が色分けして表示されるなど、採決態度が鮮明になりました。

傍聴の流れ【動画】



「議会かわさき」広報キャラクターのおよよんが川崎市議会の傍聴の流れをご紹介します。

議会中継



開催中の会議および過去の会議をご覧になれます。

会議録検索システム



川崎市議会の本会議・委員会等の全発言を対象に言葉で検索できます。

発行者 川崎市川崎区宮本町1 川崎市議会議員 飯田満

川崎市議会報告



ぜいじのみかた

2026年 vol.8



特集

・西長沢公園多目的広場の水捌け問題「試験施工を実施します」
・令和3年実施アンケート「濃度不明」回答を4年間も放置

川崎市議会議員
環境委員会 委員

みつる
飯田 満



Profile

西長沢公園多目的広場の水捌け問題「試験施工を実施します」

神奈川県内広域水道企業団が所有し、川崎市が公園用地として借り受けている「西長沢公園多目的広場」は、令和6年に地下貯水槽の耐震工事が完了し、同年9月から市民利用が再開した。しかし、降雨による水捌けの悪さが指摘され、同施設の一部で水捌けの試験施工を実施すると飯田議員の質問に宮前区長が答弁した。

飯田満：西長沢公園多目的広場の施設課題につきましては、昨年の12月17日の一般質問で議論した。宮前区内の西の端、約1万平方メートルの神奈川県内広域水道企業団が所有する西長沢浄水場の調整池の上に多目的広場がある。昭和52年に本市が公園用地として借り受けて、今現在公園として多くの市民の方々に利用していただいている。

西長沢浄水場の調整池、令和2年9月から令和6年7月まで耐震工事おこなわれた。この耐震工事が終わって、調整池の上に浸透層の碎石、盛土、ダスト舗装されたが工事が終わった後の水はけはすこぶる悪くて、昨年12月議会でも議論した。改めて西長沢公園多目的広場の施設課題の認識をお聞かせください。

宮前区長：多目的広場の降雨後の水はけが悪く利用に支障が生じていることが課題であると認識している。現在、降雨後の広場の状態によっては、利用団体の方々が自主的に吸水作業等をおこなっており、利用者の利便性の観点からも早急な改善が必要であると考えている。

飯田満：この西長沢公園は、宮前区民からすると非常にありがたい施設。ただ、本来の目的に支障があるならば、課題を解決する必要がある。水はけの問題、実際に何が原因なのか。



西長沢公園の利用団体メンバーによるスポンジでの水抜き作業

宮前区長：雨水が浸透しづらいのは、勾配が原因で降雨後の雨水が滞留しやすい状況にあると認識している。

飯田満：耐震工事後、ダスト舗装、盛土、碎石、その下に雨水を排出する管が埋まっている。この管が実は機能していないのが課題。一方、雨水を逃がすための勾配をつける対策など様々なやり方がある。対策にも幾つかの選択肢がある。実施手法について伺いたい。

宮前区長：多目的広場が調整池上部という構造を踏まえ、実現性と効果の両面から最適な方策として、広場全体に適切な表面勾配を確保した上でダスト舗装を整備し、表面排水により速やかな雨水処理を図る手法を考える。今年度につきましては、整備効果や課題を的確に把握するため、施工範囲を限定した試験施工として実施したい。

飯田満：ただ、この広大な西長沢公園多目的広場を全面的な改修となると、多大な費用が発生する。本格的な工事実施に至るには何をもって判断するかが重要だ。実施に至る決断の考えは。

宮前区長：本格的な対策工事は、広大な敷地に加え、調整池上部という特性から、神奈川県内広域水道企業団の管理施設への影響を十分に確認する必要がある。本格施工の実施は、試験施工の結果を踏まえ、整備効果の検証や技術的な課題の確認のほか、利用団体との合意形成を総合的に勘案し、判断したい。



少しの降雨でも雨が浸透せず、表面に水溜りを作ってしまう

令和3年実施アンケート「濃度不明」回答を4年間も放置

川崎市は、高濃度PCBの存在をこれまで一貫して議会の場において「市内も含めて存在しない」と答弁を繰り返してきた。しかし、行政（教育委員会施設を含む）施設から、度々、高濃度PCBが発見され、認識の甘さを指摘されると一転「高濃度PCBは新たに発見されることは否定できない」と改めた。今後は民間事業者内に眠る高濃度PCBに焦点があたる。

飯田満：実は昨年のこの議会で大きな市の認識の変換があった。「高濃度PCBは川崎市内も含めて存在しない」という認識だったものが、昨年のこの議会で「高濃度PCBは新たに発見されることは否定できない」と認識が変わった。担当副市長も変わったこともあり、白鳥副市長から認識を伺いたい。

白鳥副市長：これまでの本市や民間事業者の状況を踏まえますと、施設解体や、現在、民間事業者に対して実施している掘り起こし調査などに伴い「新たに発見される可能性は否定できない」と考えております。

飯田満：3月の予算議会で議論しましたが、ちょっと気になる点が1点あった。令和3年に高濃度PCBの掘り起こし調査をおこなった。結果として、約400者から濃度不明の安定器があるという回答。約4年もの間、濃度不明の安定器が放置され、調査されなかった。なぜ長期間放置されていたのか。

環境局長：

民間事業者におきまして、処分期限終了後も高濃度PCB廃棄物が発見されていた事



蛍光灯安定器の中にコンデンサ

案等を踏まえ、昨年度、過去に実施した掘り起こし調査結果の精査を改めておこなった。その結果、濃度不明と回答していた事業者に対する確認が十分でなかったと判断したことから、当該対象事業者に対し調査を実施したものです。

飯田満：私が伺ったのは、令和3年の調査以降、今年の2月まで濃度不明の安定器がなぜ4年もの間調査されなかったのかということ。もう1回答弁いただけますか。

環境局長：事業活動に伴って生じた廃棄物については、事業者が自らの責任において適正に処理する排出事業者責任の下、最終的な濃度分析や処分などの判断を行うものと整理。改めて精査した結果、確認が十分でなかったと判断したものです。

飯田満：濃度不明という回答は、自らでは調べられないから

濃度不明と回答していると考える。そこに手を差し伸べるのが行政としての役割ではないのか。本来、濃度不明と回答が来たならば、現場に職員を向かわせるとか、当時JESCOの方々の協力を仰ぐとか手段はあったはず。4年もの間、放置されていたことに関しては、局長を責めるつもりはありませんけれども、今後あるとするなら、すぐに現場に急行して調査をすることをやっていただきたい。

そして、今年の2月から約400の対象事業者に対して、調査がおこなわれた。この調査の方法と調査結果は。

環境局長：2月下旬に実施した安定器に関するアンケートにつきましては、郵送により387者に対して調査を実施し、159者から回答。内訳といたしましては、PCB含有機器なしとの回答が130者、濃度不明との再度の回答が29者だった。また、未回答や未達が228者。現在、濃度不明と回答のあったものや、未回答、未達となっているものを合わせ約260者に対して、改めて確認している。

飯田満：もし先ほどの指摘に対して反省の意があれば、濃度不明の29者に対し、即刻何らかの対応を取っていただきたい。それから、未回答とか未達のものが228者、ここは本当に今後調べていく余地は十分あると考える。特にこの29者は調査してもらいた

いが如何ですか。
環境局長：濃度不明の29者につきましては、速やかに対応したいと思います。



高濃度PCBが使用されているトランス